

令和 2 年

乙訓福祉施設事務組合議会第 2 回定例会
会議録

開会：令和 2 年 6 月 25 日

乙訓福祉施設事務組合議会

令和2年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会

議 事 日 程

令和2年6月25日(木)

午前10時00分開議

○出席議員(9名)

向日市	飛鳥井 佳子 議員	石田 眞由美 議員
	北林 智子 議員	
長岡京市	白石 多津子 議員	住田 初恵 議員
	山本 智 議員	
大山崎町	嘉久志 満 議員	辻 真理子 議員
	西田 光宏 議員	

○欠席議員

なし

○議会事務局職員出席者

蔵 一也 書記

○地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者(11名)

安田 守	管理者(向日市長)
中小路 健吾	副管理者(長岡京市長)
前川 光	副管理者(大山崎町長)
岩崎 英樹	監査委員
河原崎 清隆	事務局長兼総務課長
八木 富士子	会計管理者(向日市会計管理者)
中川 仁夫	事務局次長兼乙訓若竹苑施設長
小松 悦子	乙訓ポニーの学校施設長
伊藤 啓子	障がい者相談支援課長
藤本 正次	総務課 参事

○議事日程

- 日程 1 会議録署名議員の指名
- 日程 2 会期の決定
- 日程 3 管理者諸報告
- 日程 4 例月出納検査結果の報告
- 日程 5 第4号議案 監査委員の選任について
- 日程 6 第5号議案 専決処分の承認を求めることについて

(令和元年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算
(第3号))

○会議録署名議員

長岡京市 住田初恵議員
大山崎町 辻真理子議員

(開会 午前09時57分)

○西田光宏議長 おはようございます。

ただいまの出席議員数は9人であります。

それではただいまから、令和2年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を開会いたします。

まず、最初に私の方から、今回のこの議会、コロナ対策をしたいと思っております。現状、各議員の方は、各市町においてそれなりのコロナ対策をされていると思います。この場におきましても、同様の対策をさせていただくことにしております。換気に気をつかい、できるだけ簡単に質問等をしていただき、時間短縮をしたいと思っております。

また、各議員におきましては、マスク着用のままの質疑を許可いたしますので、質疑の場合、声を張っていただくことをお願いいたします。

それでは、これより日程に入ります。

○西田光宏議長 日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第75条の規定によりまして、長岡京市の住田初恵議員、大山崎町の辻 真理子議員を指名いたします。

○西田光宏議長 日程2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今定例会の会期は、本日1日限りといたしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、会期は本日1日限りといたします。

○西田光宏議長 日程3、管理者諸報告であります。

安田管理者。

○安田 守管理者 おはようございます。

本日、令和2年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を招集させていただきましたところ、議員各位には、ご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、第1回定例議会以降の報告をさせていただきます。

最初に、総務関係でございます。

新型コロナウイルス関係についてですが、当組合は、緊急事態宣言下においても事業の継続を求められており、マスクの着用や、消毒の徹底など、感染拡大防止に最大限の注意を払うとともに、利用者の皆様にもご協力をお願いしながら、感染予

防に取り組んでまいりました。

今後につきましても、第2波、第3波も想定されますことから、気を緩めることなく、引き続き感染拡大防止に努めてまいります。

次に、若竹苑の関係でございますが、現在の利用者数は、就労継続支援事業28名、生活介護事業5名の合計33名でございます。市町別では、向日市6名、長岡京市24名、大山崎町3名となっております。

地域活動支援センター事業の登録者数は22名で、日中一時支援事業の登録者数は54名でございます。そして、相談支援事業の現在の契約件数は37件でございます。

次に、介護障害審査課の関係でございますが、介護認定審査会では、合議体を228回開催し、6,963件の二次判定を行い、障害支援区分認定審査会では、合議体を24回開催し、255件の二次判定を行いました。

それぞれの概要及び本年4月、5月の状況は、お配りしている資料に記載のとおりでございます。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策といたしまして、市町の福祉部局や、認定審査会委員の皆様と協議の上、5月15日の審査会から、書面での方式に切り替えて実施しております。

次に、障がい者相談支援課の関係でございますが、例年4月、6月に開催しておりました「乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会」と「乙訓障がい者虐待防止ネットワーク会議」におきましては、感染拡大防止のため、いずれも書面で実施しております。

最後に、ポニーの学校の関係でございますが、4月からの児童発達支援事業の利用児につきましては、向日市31名、長岡京市57名、大山崎町8名、合計96名、障害児相談支援事業につきましては、契約者が344名となっております。

また、今年度より新規事業として発達相談を実施しております。

報告は、以上でございます。

○西田光宏議長 以上で管理者諸報告を終わります。

日程4、例月出納検査結果の報告であります。

監査委員の報告を求めます。

岩崎監査委員。

○岩崎英樹監査委員 それでは、私からご報告申し上げます。

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づく例月出納検査を令和2年3月

26日、4月27日及び5月27日に実施いたしましたので、同法第235条の2第3項の規定により、その結果を報告いたします。

検査結果につきましては、お手元にお配りしております報告書のとおりでございます。なお、報告書にありますとおり、各月の出納などにつきましては適正に処理されておりました。

以上で、例月出納検査結果の報告を終わります。

○西田光宏議長 以上で、例月出納検査結果の報告を終わります。

日程5、第4号議案 監査委員の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

安田管理者。

○安田 守管理者 ただいま議題となりました第4号議案 監査委員の選任について、ご説明申し上げます。

本案は、監査委員の岩崎英樹氏が、一身上の都合により、任期途中での辞職願を提出され、承認されたことにより、その後任として、元大山崎町職員上野 隆氏にご依頼し、承諾を得ましたので、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

同氏の経歴につきましては、議案の参考に記載しているとおりであります。地方公共団体の財務管理、事業の経営管理、その他行政運営に関し、優れた見識を持たれている方でございます。

よろしくご審議の上、ご同意賜りますようお願い申し上げます。

○西田光宏議長 説明が終わりました。

お諮りいたします。

本件につきましては、質疑、討論を省略して直ちに採決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、これより採決に入ります。

第4号議案について、原案のとおり同意することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第4号議案は原案のとおり同意することに決しました。

○西田光宏議長 日程6、第5号議案 専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

安田管理者

○安田 守管理者 ただいま議題となりました第5号議案 専決処分の承認を求めることについて、令和元年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算（第3号）につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ757万1,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ4億4,905万3,000円とするものでございます。

これらは、財源措置の関係から急を要し、年度末に議会を招集する時間的余裕がなかったことから、地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分を行いましたので、同条第3項の規定により、これを報告するものでございます。

なお、詳細につきましては、事務局長よりご説明いたしますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○西田光宏議長 河原崎事務局長。

○河原崎清隆事務局長 それでは、引き続きまして補正予算（第3号）についてご説明いたします。

初めに歳入から説明させていただきます。補正予算書の3ページを御覧ください。

款1分担金及び負担金、項2負担金、目1障害福祉サービス事業負担金を123万1,000円増額するものでございます。

これは主に若竹苑の就労継続事業における処遇改善加算の掛け率が高くなったことにより、全体的に増額となったことと、生活介護事業における特定事業所加算や利用者の出席率が高かったこと、また、新たに重度加算がついた利用者の方がおられたことによるものでございます。

次に、目3障害児通所支援等事業負担金は、537万7,000円の増額となっております。

これはポニーの学校の児童発達支援事業において、利用者数の増によるもの、相談支援事業の利用件数が当初見込みよりも増加した結果、増収となったことが主な要因でございます。

次に、款3財産収入、項2財産売払収入、目1物品売払収入で、96万3,000円を増額するものでございます。これは若竹苑の授産事業の売上金の増収によるものでございます。

引き続きまして、歳出についてご説明いたします。4ページを御覧ください。

款3 民生費、項1 社会福祉費、目2 若竹苑授産事業費の96万3,000円の増額は、売上金の増額に伴うものでございます。

次に、目3 介護保険認定事業費で、88万4,000円の増額でございます。これは、かかりつけ医の意見書作成謝礼の件数増と、単価の増によるものでございます。

また、目1 若竹苑管理費と、項2 児童福祉費、目1 ポニーの学校管理費につきましては、財源の内訳補正をいたしております。

最後に、款4 予備費で、572万4,000円を増額するものでございますが、これは歳入歳出補正の差し引き分を予備費で調整するものでございます。

以上、簡単でございますが説明とさせていただきます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○西田光宏議長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

辻議員。

○辻 真理子議員 歳入のところで教えていただきたいんですけども、生活介護事業の市町の負担金で、長岡京市の方からの負担金が、歳入が増えてるんですけど、先ほど、管理者の方からの報告で、生活介護が5名の今利用者となっているんですけども、もともと定員6名だったと私、理解してるんですけど、その内訳等、ちょっと説明いただいてよろしいでしょうか。

○西田光宏議長 中川事務局次長兼乙訓若竹苑施設長

○中川仁夫事務局次長兼乙訓若竹苑施設長 生活介護の方が5人になりましたのは、本年度4月になってからでございますので、それまでは6名だったということでございます。

○西田光宏議長 辻議員。

○辻 真理子議員 そうしましたら、この負担金というのは、これ、補正ということですので、4月からの負担金が増えてるということではなく、昨年度分としての負担金が増えてるという理解でよろしいですか。

○西田光宏議長 中川事務局次長兼乙訓若竹苑施設長

○中川仁夫事務局次長兼乙訓若竹苑施設長 おっしゃるとおりでございます。

○西田光宏議長 辻議員。

○辻 真理子議員 あと、先ほど生活介護の方の1名減になっているということも、そこについてのご説明いただいてよろしいですか。

○西田光宏議長 中川事務局次長兼乙訓若竹苑施設長

○中川仁夫事務局次長兼乙訓若竹苑施設長 この方につきましては、他の生活介護の事業所の方に移られました。急に変わったわけではなくて、前年度からずっと、若竹苑の生活介護事業所よりも、例えば、本人にとってよりよい面もあるんじゃないかということ、幾つか生活介護事業所を見学された中で、最終的に移るということを決断されたということです。

○西田光宏議長 辻議員。

○辻 真理子議員 結構、これまで、若竹苑の中での就労継続の方で、ちょっとご高齢になられたりとか、なかなか就労よりも生活介護の方の生活の方が本人さんにとってよいのではないのかというようなご検討していただいていたと思うんですけど、それに対して、今後の、空いてる1名というところは、どのような形でお考えかをお聞かせいただいてよろしいですか。

○西田光宏議長 中川事務局次長兼乙訓若竹苑施設長

○中川仁夫事務局次長兼乙訓若竹苑施設長 現時点では、ここを埋めるかどうかについては、今現在検討中です。

3月議会の中で、生活介護事業所については、将来的には小さくしていく、もしくは事業としてはなくしていくという方向が出てますので、そのことと鑑みながら、今後、どうしていくのかということについては考えていきたいと思っています。

○西田光宏議長 辻議員。

○辻 真理子議員 これまでの、ほかのところでも、生活介護の空きがあるというところも、お聞きはしてるんですけども、今、若竹苑全体としてのニーズ調査であったりとか、そういうところ拾っていただいて、今後ちょっと丁寧に、今後の生活介護の一枠をどうされるかというのを検討いただきたいと思いますのでお願いいたします。

○西田光宏議長 住田議員。

○住田初恵議員 今の生活介護のことでお聞きしたいんですけども、さっき言われたように、就労の方が、もうだんだん歳もとって、生活介護の方が適切じゃないのかなという方が、これからも増えていくと思うんです。そのときに、まだポニーの学校の跡地も、まだはっきり決まってませんし、そういう方の受け皿は大丈夫でしょうか。

ここに、生活介護事業をなくすということは、必要だと思うんですけども、そのなくす理由を教えてください。

○西田光宏議長 河原崎事務局長。

○河原崎清隆事務局長 3月議会でも一定お答えはしていたと思うんですけども、公立の施設としてどういうふうに運営していったらいいのかというのは、この間、ずっと協議をしている中で、生活介護については、先ほど言いましたように、廃止をしていくという方向で事業内容を検討していく。

公立の施設については、デイサービスもしかりですけども、多くの人を利用していただけるような施設を運営していくということで考えております。

一方、生活介護につきましては、乙訓圏域全体を見ましても、現在、一定充足をしている状況でございます。旧ポニーの学校の跡地のことも含めまして、圏域全体で考えていくことも必要かなというふうに考えておりますので、若竹苑としては、3月もお答えさせていただいたように、一定方向性をもって取り組んでいきたいというふうに思っております。

○西田光宏議長 中川事務局次長兼乙訓若竹苑施設長

○中川仁夫事務局次長兼乙訓若竹苑施設長 基本的な考え方として、空きがあるから、こっちは廃止の方向だから、移っていくという考え方は持っておりません。

あくまでも、今の若竹苑の生活介護よりもご本人にとってよりよい支援である、よりよいサービスである、今後のご本人の将来にとって、移られる方が、家族にとっても、本人にとってもいいことであるとなった場合になって、初めて移っていただくというふうな形になるのかなと思っておりますので、決して急ぐことではありませんし、あくまでもご家族やご本人、それから周辺の方々、それから関係者の同意のもとで、徐々に進めていくものであると思っておりますので、そここのところは押さえていこうかなと思っております。

○西田光宏議長 ほかにございますか。

(「なし」の声あり)

それでは、質問も尽きたようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

それでは、ご意見もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第5号議案について、原案のとおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第5号議案は原案のとおり承認することに決しました。

以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。

それでは、これをもちまして令和2年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

(閉会 午前10時20分)

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

乙訓福祉施設事務組合議会議長 西 田 光 宏

会 議 録 署 名 議 員 住 田 初 恵

会 議 録 署 名 議 員 辻 真 理 子